

第2期福津市教育総合計画

あたたかな未来を創る 福津の教育

～人・自然・文化がつながる 人づくり・まちづくり～

行きたい学校

帰りたい家庭

住みたい地域

【福津市コミュニティ・スクール基本理念】

平成31（2019）年 3月

◇福津市教育総合計画

1	教育総合計画の背景	1
	（1）福津市の状況	2
	（2）国や県の動向	5
2	教育総合計画の位置づけ	7
	（1）教育大綱と教育総合計画	8
	（2）計画の対象及びその他関連計画との関係	9
	（3）計画の進行管理	9
3	福津市がめざす教育	11
	（1）基本目標	12
	（2）基本目標・重点目標・基本方針・施策項目の体系	21
4	資料	23
	◇教育懇話会の概要	24

1 教育総合計画の背景

(1) 福津市の状況

1. まちとしての性格

福津市は、福岡県の北部にあり、福岡市と北九州市のほぼ中間に位置し、面積 52.76 km²、人口6万人を超える都市です。東西に JR 鹿児島本線、国道3号線が延び、海岸線と並行して国道495号線が走っています。

また、近くには九州自動車道の古賀インター・若宮インターもあり、広域的な交通利便性に富んでいます。福岡市・北九州市への通勤・通学の利便性を背景とした住宅地域として大規模団地の開発や土地区画整理事業が行われ、特に近年は急激に人口が増加しています。

福間駅周辺は大型商業施設、中央部には宮地嶽神社、新原・奴山古墳群をはじめとする津屋崎古墳群があり、商業・観光地である一方で、山と海に囲まれ、里山や田園風景、白砂青松の海岸など風光明媚な自然環境を形成しています。

2. 福津市の取組の特色は、「人づくり」

福津市の特色は「人づくり」です。

福津市には、地域自治のしくみである「郷づくり」があります。「郷づくり」を中心に市民参画及び共働（※1）による自立した地域自治の実現を推進しています。各小学校区に1つ（津屋崎小学校区には2つ）の「郷づくり」があり、「学校と地域がひとつになり、未来を担う子どもたちを地域みんなで育てる」という視点を持ち活動しています。この「郷づくり」が学校とつながり、共働していくことでコミュニティ・スクール（CS）の推進とともに「人づくり」「まちづくり」につながっています。

また、福津市独自の総合学習システムとして「郷育カレッジ」があります。「郷育カレッジ」では、地域で活躍する人を招き、地域の特性に着目した講座を開催しています。多様な講師が学校のニーズに応じて教育活動を支援したり、郷育カレッジ講座の内容が中学校の総合的な学習のカリキュラムに位置づいたりしており、活動内容は広範囲、多岐にわたっており、さらなる推進を目指しています。

(※1) 共働：情報や課題を共有し、共に知恵を出し合い行動することが「協働」ですが、福津市ではそれぞれが「対等な立場で一緒に」という意味を込めて、「共働」という表記にしています。

3. 福津市の教育「あたたかな未来を創る 福津の教育」を目標に

福津市教育委員会では、平成20（2008）年度から「コミュニティ・スクールの推進」を教育施策の柱に据えて、「夢や希望を持ち、健やかに育つ子ども」の育成、教育の光をすべての子どもに届け、一人ひとりを見失わない教育活動などに取り組んできました。

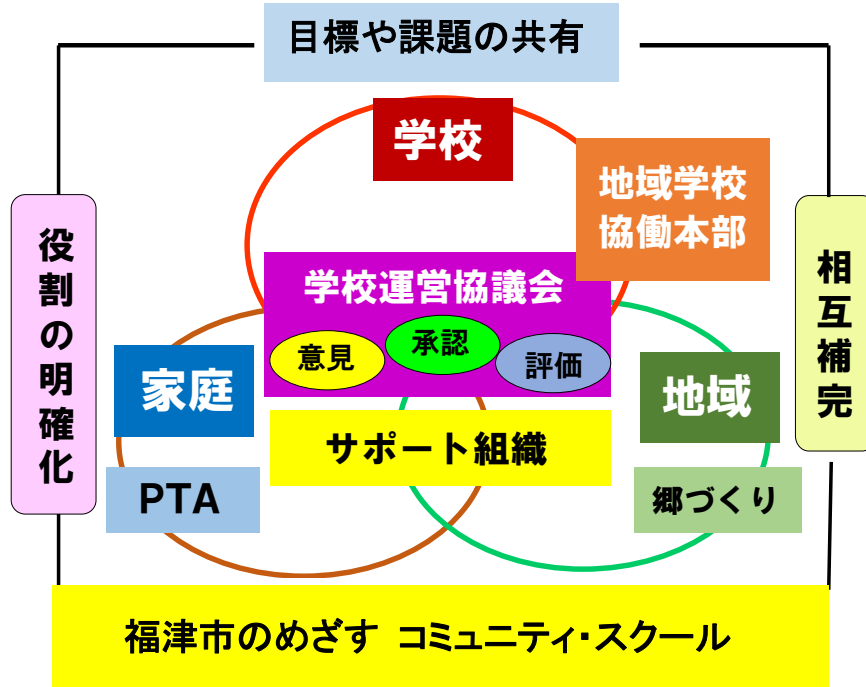
コミュニティ・スクールの推進にあたっては、「行きたい学校・帰りたい家庭・住みたい地域」という基本理念を掲げ、この学校で学んでよかったと思える学校づくり、家族の絆を大切に思い、愛情あふれる家庭づくり、子どもたちの夢を叶える地域づくりを進めてきました。また、学校、家庭、地域が連携・共働した教育活動を行うことで、次代を担う、健康で知性と個性を備えた心豊かな子どもたちを育ててきました。

これらの教育活動を効果的に行うため、市には、人づくり・地域づくりブランドである「郷育カレッジ」、「郷づくり（市民が自分たちの地域を愛し魅力的なコミュニティを築くための組織）」というしくみがあり、「コミュニティ・スクール」との連携を図っています。連携によって子どもたちは、様々な知識や経験、価値観を有し社会に貢献してきた大人との出会いの中、基礎的・基本的な学力だけでなく社会人としての基礎力や生きる力が培われています。また、学校・家庭・地域の三者が共働して子どもを育てることを通じ、地域の方々には、出合いや居場所、出番（自己実現や活躍の機会）が生まれています。家庭にとっても子育て支援体制や学びの場が充実することで子どもの育ちを支える基盤となる家庭の教育力が向上しているところです。

福津市教育委員会としては、基本理念をもとに、福津市の特色である人・自然・文化のつながりを大切にしながら、「あたたかな未来を創る 福津の教育」を目標としています。そのために、今後とも魅力ある地域づくりや、みんなが学びあい、成長しあい、生きがいを見つけあうことができる創造的な教育活動や生涯学習社会の実現のために、郷づくり推進協議会や関係機関との連携、共働体制を強めるとともに、コミュニティ・スクールをより一層充実・発展させ、「地域とともにある学校づくり」と同時に「学校を核とした地域づくり」を進めたいと考えています。

福津市のめざす
子ども像

志をもち、未来をたくましく切り拓く子ども



■ 福津市の特色ある3つの施策の基本コンセプト

- 郷づくり**

 - 地域の課題解決や魅力ある地域づくりに向けた地域自治活動組織
 - 郷土人の力を地域づくりの資源として活用
 - 市民が主役の地域自治活動

「人」の繋がりとしての郷づくり
- 郷育カレッジ**

 - 地域の特性に着目した福津市独自の総合学習システム
 - 地域人財を講師とした講座 ➢ 地域が繋がり、学び育ち合う場
 - 地域に対する貢献意識・帰属意識を醸成

「人」が資源となり地域の活力を生む
- コミュニティ・スクール**

 - 「地域の子どもは地域で育てる」意識改革
 - 学校・家庭・地域の連携・共働による学びの場の創造
 - 地域のアイデアと想いと資源を教育活動に有効活用
 - 地域から刺激を受けた子どもたちが主体的に企画力を発揮し地域へ還元

「人」を育む好循環のしくみづくり

福津市の取組の特色は **「人づくり」**

(2) 国や県の動向

◇国においては、絆づくりと活力あるコミュニティの形成の観点から、「第2期教育振興基本計画（平成25（2013）年度～平成29（2017）年度）」に「コミュニティ・スクールを全公立学校の1割（3,000校）に拡大すること」が盛り込まれ、「社会が人を育み、人が社会をつくる」という好循環に向けたシステムづくりが進められました。その結果、公立小・中学校、義務教育学校の導入数は5,432校（平成30（2018）年4月1日時点）となりました。平成30（2018）年6月に閣議決定された「第3期教育振興基本計画」では、学校と地域との組織的な連携・協働において進展が見られたとしたうえで、地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員の配置の促進や、地域学校協働本部の整備等により、全小中学校区における幅広い地域住民や地域の団体等の参画を通じた地域学校協働活動の全国的な推進を図るとされています。教育の目指すべき姿として、自立した人間として主体的に判断し多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成、ひとりひとりが活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現と、社会の持続的な成長と発展が掲げられています。

また、平成29（2017）年の『自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り開く子どもを育む教育の実現に向けた、学校、家庭、地域の教育力の向上（教育実行再生会議：第十次提言）』においても、地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員の配置や研修を促進するとともに、幅広い地域住民や団体等の参画により、郷土学習、地域行事、学びによるまちづくり、登下校のみまもり等の地域と学校が連携・協働して行う地域学校協働活動を推進することが提唱されています。

◇福岡県は、平成29（2017）年3月に福岡県総合計画：平成29～33（2017～2021）年度を策定しており、この教育分野である福岡県教育振興基本計画があります。また、平成27（2015）年11月に知事が策定した「福岡県教育大綱」（※2）と、これを踏まえ同年12月に福岡県教育委員会において「福岡県学校教育振興プラン」（※3）を策定しています。

(※2) 福岡県教育大綱

ふくおか未来人財ビジョン

「国際的な視野を持ち、地域で活躍する『人財』を社会全体ではぐくむ福岡県」を目指して、「学力、体力、豊かな心」、「社会にはばたく力」及び「郷土と日本、そして世界を知る力」の3つの力を柱とする施策の方向が示されている。

(※3) 福岡県学校教育振興プラン「鍛ほめふくおかメソッド」

～鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性～

<福岡県の学校教育の目標>

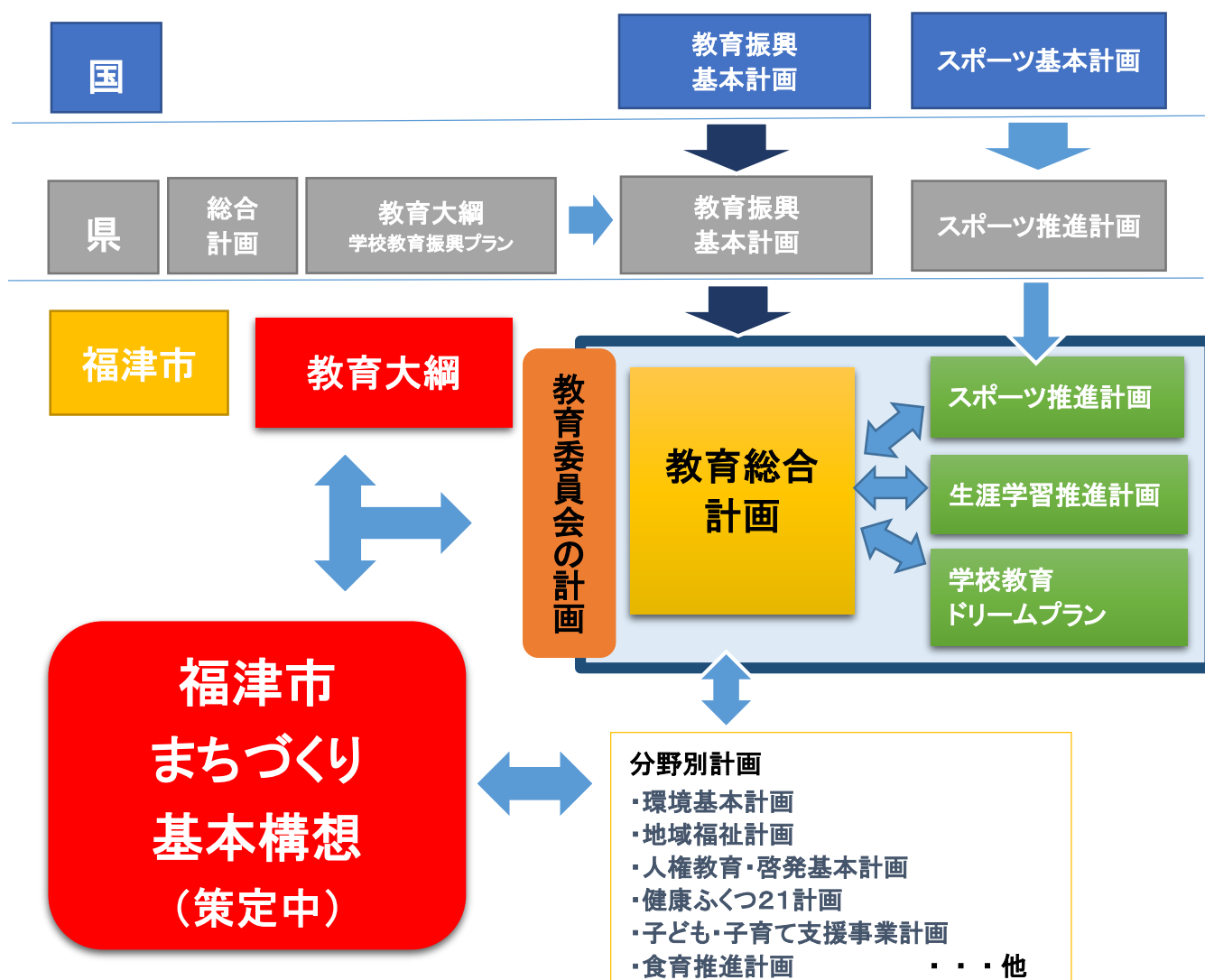
- ① 社会的自立の基礎となる、学力・体力・豊かな心を培う。
- ② 社会の変化に対応し、社会を支え、その発展に寄与する力を育てる。

2 教育総合計画の位置づけ

(1) 教育大綱と教育総合計画

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成 27（2015）年 4 月 1 日施行）により、教育委員会制度が改正され、市長と教育委員会との連携の強化を図るため、市長及び教育委員会により構成する「総合教育会議」が創設されました。また、市の教育、学術及び文化振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定める大綱を市長が策定することが義務付けられました。福津市教育大綱は本市の教育行政を推進するための基本指針となります。

福津市教育総合計画は、福津市まちづくり基本構想（策定中）に定める目標像と取組方針の達成に向け「福津市教育大綱」と連動させ、教育分野の基本方針、基本目標の方向を示し、本市の教育施策を展開していきます。



（２）計画の対象及びその他関連計画との関係

本市の教育は、市民が学校運営に参画し、学校、家庭、地域が連携・共働して子どもたちの学びや育ちを支える、コミュニティ・スクールを基盤として取り組んでいます。

また、福津市では未来に向けて持続可能な社会の担い手を育てる人づくり、まちづくりをめざしています。

そこで、本計画は、子どもから大人までの学びの連続性や人財育成の循環を重視し、全市民を対象とした計画として策定しています。

また、対象の範囲は主に教育委員会が所管する「学校教育」、「社会教育」、「家庭教育」、「スポーツ・文化」の分野としていますが、市には他の分野別計画が策定されており、これらの計画とも関連させて施策を推進することとしています。

（３）計画の進行管理

本計画は平成31（2019）年度から8年間を実施期間としており、4年間で中間見直しを行います。また、時代の変化や本市の課題に応じて随時見直しを行います。

本計画の基本目標に基づいて実施する施策については、毎年度、点検及びその結果の評価による進行管理を行います。

なお、毎年度の点検・評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による点検・評価報告書を策定し、ホームページ等を活用して公表します。

【福津の地域を担う人財育成ビジョン】



福津市教育大綱

基本理念

福津を愛し、人との関わりを大切にして、未来に向けて学び続ける人づくり・まちづくり

基本方針

- ①地域人として活躍する循環型の人づくり・まちづくり
- ②「郷」でいきいきと学び続け、人をつなぎ地域をつなぐ人づくり・まちづくり
- ③ふるさと福津の誇りや生きがいを持ち、地域を活性化する人づくり・まちづくり
- ④未来に向けて視野を広げ、たくましく生きる人づくり・まちづくり

基本目標

- ①学校・家庭・地域の総力をあげた生きるちからの育成
- ②福津の歴史・伝統文化継承によるふるさと福津の醸成
- ③地域社会の総力をあげた青少年の育成
- ④次世代を見通した地域の将来を担う人財の育成
- ⑤子どもの育ちを支える家庭・地域の教育力の向上
- ⑥次世代育成支援による子ども・子育て支援の環境づくり
- ⑦学校と地域のパートナーシップの構築
- ⑧地域の人々をつなぐ福津市型生涯学習の充実
- ⑨自然環境・文化・スポーツ等の絆づくりによる市民生活の向上

福津の教育基盤にあるもの 安部清美先生の提唱された「愛の教育」「土の教育」

「地域を愛し、みんなで守ること」 「自然を愛し、みんなで生かすこと」
「人を愛し、みんなで育むこと」

『一人の子を粗末にする時 教育はその光を失う』 安部清美先生

3 福津市がめざす教育

(1) 基本目標

【基本目標】

あたたかな未来を創る 福津の教育
～人・自然・文化がつながる 人づくり・まちづくり～

基本目標 「あたたかな未来を創る 福津の教育
～人・自然・文化がつながる 人づくり・まちづくり～」

『あたたかな未来を創る 福津の教育』には、乳幼児から大人までの全市民を対象とした、多様なニーズに対応した教育、一人一人が自己実現できる教育を通して、「福津の教育を受けることができてよかった。」「福津でもっと学んでみよう。」「福津で学んだことを活かして、新たな未来を築いていこう。」と感じてほしいとの願いを込めています。

これまで福津市は、人と人とのつながり、豊かな自然や環境、地域の歴史や文化と人がつながることを大切にしたい、人づくりとまちづくりをおこなってきました。

『あたたかな未来を創る 福津の教育』は、福津市が大切にしている人・自然・文化とのかかわり、つながりがキーワードです。

福津市全てを学びの場として、『かかわり・つながり』を重視した教育の推進を目指していきます。

《重点目標》

- 1 未来を創造するための、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成
- 2 未来に向けて豊かに学び続ける「福津型学びの循環」の構築
- 3 福津の豊かな自然や環境、歴史や文化とのかかわりを活かした学びの充実

基本目標の達成に向けて、第2期福津市教育総合計画では、上記の3つを重点目標としています。

「未来を創造するための確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成」に関しては、主に子どもたちを対象としています。

福津の子どもたち一人一人が、あたたかな未来を創り出すことができるような教育の実現を目指していきます。

「未来に向けて豊かに学び続ける『福津型学びの循環』の構築」に関しては、大人を含めた全市民を対象にしています。

人と人とのつながりを活かした、「学び合い、教え合い」を充実させる取組を推進していきます。ここでは、地域で学び、学びを子どもや地域に還元するしくみや子どもの育ちを支える家庭・地域の教育力向上にむけた学びの実現を目指してしていきます。

「福津の豊かな自然や環境、歴史や文化とのつながりを活かした学びの充実」に関しては、福津の豊富な地域資源、すなわち、「もの・こと」を対象としています。これらを活用した学びを通して、郷土に対する誇りや郷土愛を育む学びの実現を目指していきます。

1 未来を創造するための確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

この重点目標を実現するために2つの基本方針を掲げ、その基本方針に基づいて具体的な施策を示しています。

※各施策項目における主要事業や指標は、各施策項目の下に記載している各計画において示します。また、市におけるその他関連計画がある場合は、併せて記載しています。

☆学校・家庭・地域が連携・共働したCSの推進

コミュニティ・スクールを基盤とした教育活動を通して、地域の「ひと・もの・こと」を学び、郷土への愛着と誇りをもち、未来を創造する力の基盤となる豊かな心、体力、学力を育成します。

◇確かな学力の育成

各学校において、確かな学力を子どもに身に付けさせる魅力ある授業づくりや安心感のある学級づくりを推進できるよう支援を行う。また、小中9年間の学びや育ちを支えるために、中学校ブロックでの小中連携による学力向上の取組の支援を行う。

この中で、「外国語教育」、「ICT教育」、「プログラミング教育」等の新学習指導要領に対応した教育を推進する。

規則正しい生活習慣の確立や、家庭学習の時間の確保・習慣化を推進する。

【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリームプラン、福津市教育の情報化推進計画

◇豊かな心の育成

基本的人権の尊重の精神が正しく身につくよう、就学前教育・学校教育・家庭教育・社会教育において人権教育や人権啓発を推進する。

道徳教育の教科化に伴い、教師の授業力向上のための取組や、児童生徒の規範意識や社会性等の心の成長を促す体験的活動をさらに強化して推進する。これらの取組を通して、児童生徒の規範意識、自尊感情、自己有用感を高めるとともに、気持ちを伝え合うコミュニケーション力などのスキルの向上も図る。

また、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸問題の解決のために、学校と家庭および関係諸機関及び団体の連携を強化し、支援を行う。

【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリームプラン

【その他関連計画】 福津市人権教育・啓発基本計画、福津市子ども子育て支援事業計画

◇健やかな体の育成

日常的な体力向上の取組や、生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎となる望ましい食習慣や自己管理能力を培う取組について、地域とも連携しながら一層の推進を図る。例えば、各学校でおこなっている新体力テスト、規則正しい生活リズムをつくれるように、食事や睡眠、スマートフォン・ゲーム等に関する講座・研修会や、福津市の特色を活かした自然体験、海洋スポーツ（カヤックやヨットなど）等を子どもに関係する諸団体、機関と連携して進める。

【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリームプラン、福津市スポーツ推進計画

【その他関連計画】 健康ふくつ21計画、福津市食育推進計画

◇学校における教育環境・条件の整備

児童生徒数急増に伴う教育環境の整備や、少人数指導の充実、教育指導員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の配置および専門機関・関係機関との連携の充実、特別支援教育や性的少数者等の配慮を要する児童生徒への支援、近年増加傾向にある外国籍児童生徒に対する日本語教育への支援などを積極的に推進する。

また、学校教育現場における児童生徒の多種多様なニーズに応えるための教

育環境や条件の整備や、学校施設の環境整備、ICTの環境整備などを進める。
【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリームプラン、福津市教育の情報化推進計画
【その他関連計画】 福津市人権教育・啓発基本計画

◇保・幼・小連携の推進
「人間関係を構築し維持する力」、「学びに向かう力」を育成するため、保護者との連携も含め、保育所・幼稚園と小学校の連携を密にし、保・幼でアプローチカリキュラム、小学校でスタートカリキュラムの作成・活用に取り組み、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図る。
【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリームプラン
【その他関連計画】 福津市子ども・子育て支援事業計画

◇学校と地域の連携の推進
市がこれまで取り組んできたコミュニティ・スクールの更なる発展に向けて、小・中学校の学校運営協議会を中心としたしくみから、学校運営協議会と地域学校協働本部との両輪によるしくみを構築し、その実働化のために地域学校協働活動推進委員（地域コーディネーター）を位置づける。このしくみを実働化して学校と地域との関わり、つながりを大切に、郷づくりや地域で活動している諸団体、事業所、郷育カレッジ等との連携を深め、持続可能なCS運営体制を整備する。
具体的な連携事業としては、地域における子どもの活動や体験などを積極的に支援するため、公民館や学校等の施設を拠点として、郷づくり推進事業や郷育カレッジなどの事業を充実させる。また、家庭との連携も図りながら、現代的教育課題の解決に資する取組を推進するとともに、子どもを危険や犯罪から守る地域体制を整備し、配慮を要する児童生徒や外国籍児童生徒への支援、命を守る防災教育の推進や地域合同避難訓練等を推進する。
これらの取組について、地域の特色や資源を活かすことで、学校の特色化を図ることとする。
【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリームプラン、福津市生涯学習推進計画
【その他関連計画】 福津市子ども・子育て支援事業計画

☆次世代を見通した地域の未来を担う人財の育成

福津を愛し、福津の学びを活かす人財を育成するとともに、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、多文化理解の精神等を身に付けて様々な分野でグローバルに活躍できる人財を育成します。

◇地域を担う人財の育成
福津を愛し、福津の良さを知り、住みよい福津を育てる力になりたいという意欲をもつ「ひと」を育て、学びを応援することで生きがいを感じ、地域の一人としての誇りを持つ「ひと」を育てるなど、地域人財の活用や社会教育との連携を通して、福津を愛し、未来に向けて地域人へと成長する育ちの循環型人づくりの構築を図る。
【主要事業及び指標】 福津市生涯学習推進計画

◇グローバル人財の育成
伝統と文化を育んできた郷土について学び、愛し、大切にす気持ちや育むこと、また、近年増加傾向にある外国籍児童生徒と関わること等で他の文化に触れ、尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度や、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、多文化理解の精神等を身に付けて様々な分野でグローバルに活躍できる人財を育成する。
【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリムプラン

2 未来に向けて豊かに学び続ける「福津型学びの循環」の構築

この重点目標を実現するために4つの基本方針を掲げ、その基本方針に基づいて具体的な施策を示しています。

☆地域の人々をつなぐ福津市型生涯学習の充実

学校・家庭・地域をつなげ、人と人とのつながりを活かした学びの機会や様々な学びの場を広げていきます。

◇郷育カレッジの推進
地域の「ひと・もの・こと」を活かしてコミュニティの絆を深めるような学習機会を提供する。具体的には、「郷育カレッジ」の講師を学校の体験学習や活動の講師として派遣・活用し、地域と児童生徒が触れ合える講座を開設して、地域と学校の連携を深める。
このような取組を通して、福津の魅力を生かし、福津に「ひと」が集う取組

を生ま出すための学びの機会をつくり、学校・家庭・地域をつなげ、様々な学びの場を広げていく。

【主要事業及び指標】 福津市生涯学習推進計画、福津市学校教育ドリ
ームプラン

◇生涯学習の充実

地域の施設・自然・歴史・文化などをつなぎ、学びのしくみをつくる。具体的には、希少動物が生息する資源環境の保全活動、津屋崎古墳群をはじめとする文化財の保護・活用、伝承行事の継承活動などを通して、地域の魅力を再認識して、郷土への愛着と誇りを生む学びの機会を増やし、次代を担う子どもを育て、大人もよりよい社会や生き方を求めていくことができる生涯学習の環境を整える。

【主要事業及び指標】 福津市生涯学習推進計画

☆ 子どもの育ちを支える家庭・地域の教育力向上

家庭の子育て力向上のための事業や、保護者が孤立することなく、周りの保護者や地域とつながりを持ち、家庭・地域・保育所・幼稚園・学校等が連携して育てる地域体制の整備を推進します。

◇子どもの豊かな体験活動の充実

地域の魅力を再認識して、郷土への愛着と誇りを生む学びの機会となる、津屋崎古墳群をはじめとする文化財の保護活用、伝承行事の継承活動など様々な体験活動に参加し、集団生活の大切さや自然環境保護の意義等を学び、児童生徒の自主性、協調性、規範意識や自尊感情の高揚を図る。

また、子どもたちの居場所づくりや様々な体験の機会を提供するため、地域全体で子どもを見守るアンビシャス広場の環境づくり、地域の子ども会育成会などへの支援を行う。

【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリームプラン、福津市生涯学習推進計画

◇相談体制・学習機会の充実

家庭の子育て力向上のための事業や、保護者が孤立することなく、周りの保護者や地域とつながりを持ち、家庭・地域・保育所・幼稚園・学校等が連携して育てる地域体制の整備を推進する。保護者の相談窓口として家庭児童相談室や、子どもを守るネットワーク機能として要保護児童対策地域協議会を設置し、

包括的な相談支援体制づくりを行う。
【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリームプラン
【その他関連計画】 福津市子ども・子育て支援事業計画、福津市地域福祉計画

☆ 次世代育成支援による子ども・子育て支援の

環境づくりの充実

子どもと地域との交流や子育て世代の交流を推進し、子どもを地域全体で見守り育てていきます。

◇子育て支援の充実
<p>子どもを育てることが家族の愛情や絆を深め、親自身の新たな人間形成につながり、生きがいとなるよう子育て支援事業の充実を図り、子育てを楽しめるように支援する。このために、子どもと地域との交流を推進し、子どもを地域全体で見守り育てるという意識を醸成するとともに、家庭における子育てに関する悩み、虐待や不登校、非行等子どもに関する問題へ対応するため、児童相談所、学校等関係機関が連携して支援を行う。</p> <p>また、近年の急速な情報化社会の進展に対応するため、メディアからの情報を主体的に読み解き、情報を活用する力と、メディアを通じて円滑にコミュニケーションを図る力が身につくよう、子どもと大人の双方に対してメディアとの適切な接し方や情報モラルに関する啓発を進める。</p>
【関連計画】 福津市子ども・子育て支援事業計画、福津市地域福祉計画

☆ 地域社会の総力をあげた青少年の健全育成

地域の子ども会育成会など青少年育成団体に対する支援の充実や、青少年の情報モラルの育成を図ります。

◇青少年育成の充実
<p>地域の子ども会育成会など、青少年育成団体に対する財政面での支援のほか、団体の活動に対して指導や助言を行い、環境づくりを支援する。</p> <p>青少年がメディアと適切に接するための情報モラルの育成や、子どもを犯罪から守り、子どもの人権を尊重し、健全な育成をするため、学校・家庭・地域、青少年育成市民の会、郷づくりなどの各機関、団体が連携して進める。</p>
【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリームプラン

【その他関連計画】 福津市人権教育・啓発基本計画、福津市子ども・子育て支援事業計画

3 福津の豊かな自然や環境、歴史や文化とのつながりを活かした学びの充実

この重点目標を実現するために2つの基本方針を掲げ、その基本方針に基づいて具体的な施策を示しています。

☆ 自然環境の保全や歴史、伝統文化の継承による

ふるさと福津の醸成

持続可能な環境保全活動を実現していくために、各地域で市民、市民団体、事業者、教育・研究機関、市などが情報を共有し、連携しながら活動していくみづくりを進めていきます。

◇自然環境の保全に向けた環境教育の充実

全市小・中学校で副読本を用いて「ふるさと福津」学習を実施し、児童生徒が郷土・自然のことを学び、郷土・自然を大切にする心を育み、自然を守り、福津の環境保全に取り組もうとする意識の高揚を図る。

持続可能な環境保全活動を実現していくために、各地域で市民、市民団体、事業者、教育・研究機関、市などが情報を共有し、連携しながら活動していくみづくりを進める。

【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリームプラン

【その他関連計画】 福津市環境基本計画、福津市食育推進計画

◇歴史、伝統文化等の地域学習の充実

福津の自然・歴史などの郷土の資源の価値を学び、資源環境の保全活動、文化財の保護・活用、伝承行事の継承活動などを推進する。学校教育では、全市小・中学校で副読本を用いて「ふるさと福津」学習を実施し、児童生徒が福津の豊かな自然、古来から続く歴史、世界遺産を含む観光資源等を学び、郷土への愛着と誇りをもつ「ひと」を育成する。

また、生涯学習推進の一環として、地域の歴史や資料の紹介、周知により地域の歴史に対する市民の興味、関心を高め、地域学習充実の基盤をつくる。

【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリームプラン、福津市生涯学

習推進計画、出前講座、歴史資料館展示や歴史資料室レファレンスなど

◇世界文化遺産等の保存・活用

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の構成資産である新原・奴山古墳群の価値の理解に向けて環境整備を行う。また、ふるさと教育をおこない、生涯学習の場として活用するとともに、学校教育と連携して歴史教育の素材として活用する。

【主要事業及び指標】 国指定史跡津屋崎古墳群整備基本計画

☆ 文化・健康・スポーツや絆づくりによる市民生活の向上

スポーツや文化、芸術に触れ合う機会を創出し、地域文化を振興することで、心身の健康とスポーツ、文化芸術活動を通じた郷土愛、地域コミュニティの醸成を図ります。

◇心豊かな人権感覚を育む啓発事業の充実

基本的人権の尊重の精神が正しく身につくよう、就学前教育、学校教育、地域社会、社会教育、家庭教育、企業・事業所などあらゆる場において人権教育・啓発を推進する。

【主要事業及び指標】 福津市学校教育ドリームプラン

【その他関連計画】 福津市人権教育・啓発基本計画

◇健康づくり、スポーツ・文化芸術活動の充実

スポーツに触れ合う機会を創出し、地域文化を振興することで、心身の健康とスポーツ、文化芸術活動を通じた郷土愛、地域コミュニティの醸成を図る。

学校等でおこなっている体カチャレンジランキング（スポーツテスト）の取組を継続する。

【主要事業及び指標】 福津市スポーツ推進計画

【その他関連計画】 健康ふくつ21計画

(2) 基本目標・重点目標・基本方針・施策項目の体系

[基本目標] あたたかな未来を創る 福津の教育

～人・自然・文化がつながる 人づくり・まちづくり～

重点目標	基本方針	施策項目
未来を創造するための確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成	学校・家庭・地域が連携・共働したCSの推進	確かな学力の育成
		豊かな心の育成
		健やかな体の育成
		学校における教育環境・条件の整備
		保・幼・小連携の推進
		学校と地域の連携の促進
	次世代を見通した地域の将来を担う人財の育成	地域を担う人財の育成 グローバル人財の育成
未来に向けて豊かに学び続ける「福津型学びの循環」の構築	地域の人々をつなぐ福津市型生涯学習の充実	郷育カレッジの推進 生涯学習の充実
	子どもの育ちを支える家庭・地域の教育力向上	子どもの豊かな体験活動の充実 相談体制・学習機会の充実
	次世代育成支援による子ども・子育て支援の環境づくりの充実	子育て支援の充実
	地域社会の総力をあげた青少年の健全育成	青少年育成の充実
	福津の豊かな自然や環境、歴史や文化とのつながりを活かした学びの充実	自然環境の保全や歴史、伝統文化の継承によるふるさと福津の醸成
歴史、伝統文化等の地域学習の充実		
世界文化遺産等の保存・活用		
文化・健康・スポーツや絆づくりによる市民生活の向上		心豊かな人権感覚を育む啓発事業の充実 健康づくり、スポーツ・文化芸術活動の充実

4 資 料

◇教育懇話会の概要

◇教育懇話会委員（敬称略）

平成28（2016）～平成29（2017）年度

会長 伊藤 克治

副会長 新海 秀俊 委員 白木 照久 委員 木本 圭子

委員 増井 久美子 委員 太田 温代 委員 志満 千代子

委員 安武 由美子 委員 本木 孝節 委員 山口 尚志

平成30（2018）～平成31（2019）年度

会長 伊藤 克治

副会長 原田 博幸 委員 太田 剛 委員 木本 圭子

委員 増井 久美子 委員 太田 温代 委員 安武 由美子

委員 木村 航 委員 小野 こそ恵

◇教育懇話会の経緯

平成29年度	諮問	平成29年 12月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・諮問 ・福津市教育大綱（案）について【報告】 ・福津市教育総合計画策定の背景、計画の柱、構成、内容等について
		平成30年 2月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・福津市の教育における課題の整理と位置付けについて
平成30年度		5月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・福津市教育総合計画の構成について
		6月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・福津市がめざす教育～基本目標、重点目標、施策項目の体系について
	中間答申	7月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・中間答申
		8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・福津市がめざす教育～施策項目の整理、基本方針・施策項目の説明内容について
	答申	10月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・最終答申
		平成31年 2月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・福津市教育総合計画策定まとめ

29 福教総第1288号
平成29年12月15日

福津市教育懇話会
会長 伊藤 克治 様

福津市教育委員会
教育長 柴田 幸尚

第2期福津市教育総合計画（仮称）について（諮問）

学校、家庭、地域が連携・共働して「地域とともにある学校づくり」を推進する本市のコミュニティ・スクールは、「学校を核とした地域づくり」へと発展しようとしています。

一方、国は、2030年以降の社会の変化を見据えた課題等へ対応していくため、平成30年度からの5年間を対象とした第3期教育振興基本計画の策定に向けて取り組んでいます。

今回の第2期福津市教育総合計画（仮称）の策定にあたっては、「福津を愛し、人とのかかわりを大切にして、未来に向けて学び続ける人づくり・まちづくり」を基本理念とする教育大綱や、国の第3期教育振興基本計画を参酌し、また、平成30年度中に策定される福津市総合計画との整合を図りながら、学校教育分野に限らず、家庭教育やスポーツ、文化などの社会教育分野も含めて構成したいと考えているところです。

つきましては、第2期福津市教育総合計画（仮称）の策定にあたり、貴懇話会のご意見、ご提案を賜りたくここに諮問します。

なお、勝手ながら下記の期限をもって答申をいただきますならば幸いです。

記

中間答申	平成30年5月31日
最終答申	平成30年9月30日

平成30年 7月26日

福津市教育委員会
教育長 柴田 幸尚 様

福津市教育懇話会
会長 伊藤 克治

第2期福津市教育総合計画について（中間答申）

平成29年12月15日付29福教総第1288号で諮問があった第2期福津市教育総合計画について、下記及び別紙「第2期福津市教育総合計画（中間答申）」のとおり答申いたします。

記

学校、家庭、地域が連携・共働して「地域とともにある学校づくり」を推進する福津市のコミュニティ・スクールは、「学校を核とした地域づくり」へと発展しようとしています。

人は「まち」によって育てられ、「まち」は人によって創られます。子どもたちは、地域の「ひと」・「もの」・「こと」と関わりながら育っています。

「福津を愛し、人とのかかわりを大切にして、未来に向けて学び続ける人づくり・まちづくり」を基本理念とする教育大綱と連動して、本答申では、『あたたかな未来を創る 福津の教育～人・自然・文化がつながる 人づくり・まちづくり～』を基本目標としました。

福津市がこれまで大切にしている、人と人とのつながり、豊かな自然や環境、地域の歴史や文化とのかかわり・つながりを重視して、福津らしい教育を推進してほしいと考えています。

なお、本中間答申では、基本目標、重点目標、基本方針の決定とその位置付けまでの審議結果を踏まえて作成しています。今後、施策項目の整理、基本方針・施策項目の説明内容について審議し、必要に応じて修正した上で最終答申に反映させることを申し添えます。

平成30年10月25日

福津市教育委員会
教育長 柴田 幸尚 様

福津市教育懇話会
会長 伊藤 克治

第2期福津市教育総合計画について（答申）

平成29年12月15日付29福教総第1288号で諮問があった第2期福津市教育総合計画について、下記及び別紙「第2期福津市教育総合計画（最終答申）」のとおり答申いたします。

記

学校、家庭、地域が連携・共働して「地域とともにある学校づくり」を推進する福津市のコミュニティ・スクールは、「学校を核とした地域づくり」へと発展しようとしています。

「福津を愛し、人とのかかわりを大切にして、未来に向けて学び続ける人づくり・まちづくり」を基本理念とする教育大綱と連動して、本答申では、『あたたかな未来を創る 福津の教育～人・自然・文化がつながる 人づくり・まちづくり～』を基本目標としました。

『あたたかな未来を創る 福津の教育』には、乳幼児から大人までの全市民を対象とした、多様なニーズに対応した教育、一人一人が自己実現できる教育を通して、「福津の教育を受けることができよかった。」「福津でもっと学んでみよう。」「福津で学んだことを活かして、新たな未来を築いていこう。」と感じてほしいとの願いを込めています。

福津市がこれまで大切にしている、人と人とのつながり、豊かな自然や環境、地域の歴史や文化とのかかわり・つながりを重視して、福津市すべてを学びの場として、福津らしい教育を推進してほしいと考えています。

第 2 期福津市教育総合計画

発 行 福津市教育委員会／平成 3 1（2019）年 3 月
編 集 福津市教育委員会 教育部 教育総務課
〒811-3293 福津市中央 1 丁目 1 番 1 号
TEL : 0940-62-5092
FAX : 0940-43-9004
E-mail : kyoiku@city.fukutsu.lg.jp
